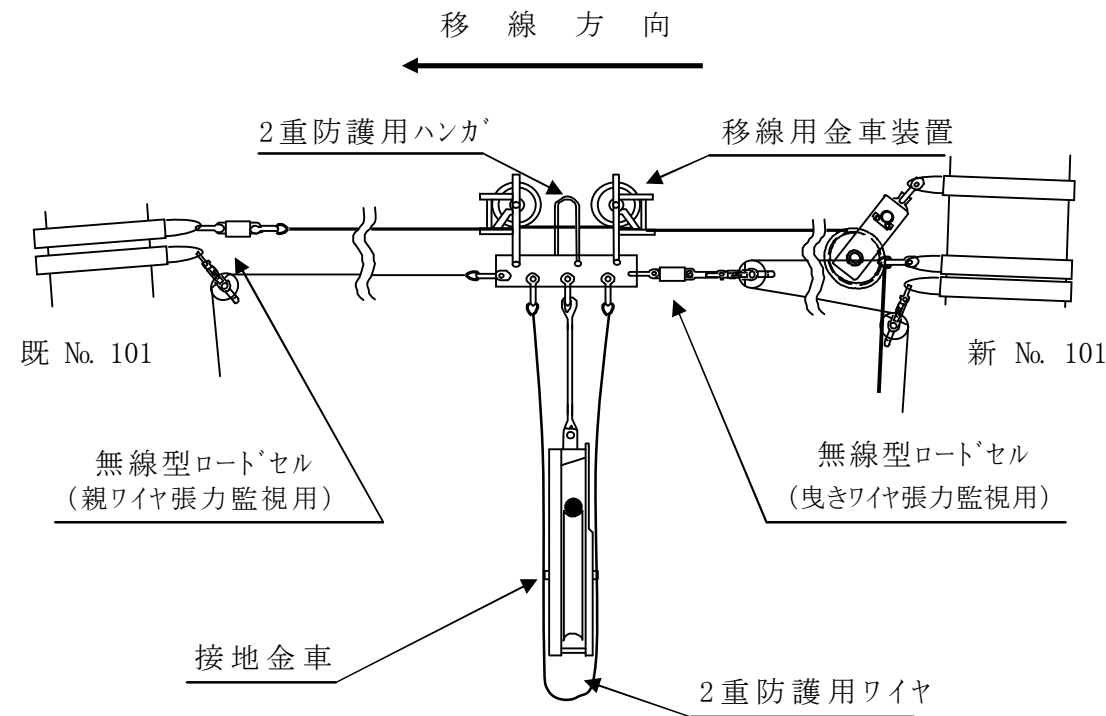


(3) 移線工法を使用した多径間スライド移線工法 [特許の実施許諾権保有]

概要	既設鉄塔と新設鉄塔間に親ワイヤを張り、電線を移線金車装置に乗せて親ワイヤ上をスライドさせて移線する工法。
特長	移線中の電線地度の変動幅が少なく、一定の張力で線下障害物との離隔を確保できる。移線距離・径間が長く、横過物件のある箇所では効果的な工法である。防護足場も不要である。

【スライド移線装置詳細図】

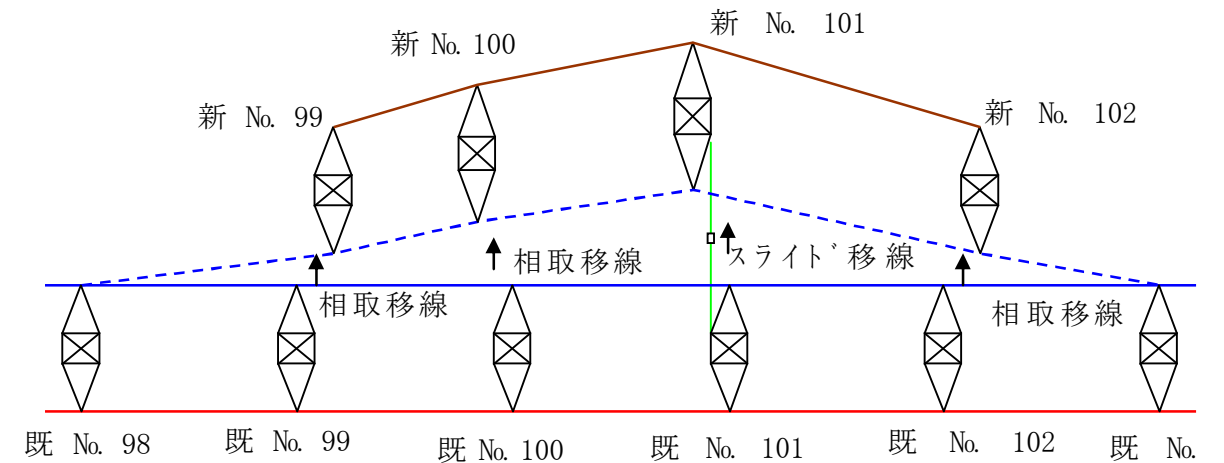


【移線用金車装置】



定格荷重 2,500 kg f

【施工概要図】



【施工状況】

南九州幹線 新No.101～既No.101移線状況



【特許及び実施許諾権について】

発明の名称	移線工法
特許番号	特願 平10-5724号
特許権所有者	東京電力(株) 関電工 安田製作所
実施許諾権者	(株)九建
実施範囲	九州7県(福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島)

同工法を採用した工事件名

発注者	電圧 (kV)	工事件名	回線	備考
九州電力(株)	500	峇北火力線昇圧並びに南九州幹線中九州SSπ引込工事	1	2L